



敬老の日 企画

20年間備後の里に通い続けてくださっている吉岡薫さんに取材をしました。

吉岡さんは1987年に胸椎腫瘍を発症され、それから車いす生活を送ってられます。1999年の12月に備後の里が開所し、年が明けた4月に自ら備後の里を選んで電話をかけてくださったのが、吉岡さんと備後の里との縁の始まりでした。初めに電話対応をしてくれた職員の感じの良さで利用を決めたそうです。

利用開始当初は67才と若く、あまり馴染めなかったそうです。それから胸椎腫瘍が再発し、8か月間入院生活を送られました。その後要介護2になり、週2回備後の里を利用するようになりました。家では車いす生活でありながら、家事全般を担っていたため、デイサービスに来る日が「楽ができる日」になっていました。

「備後の里で職員と話すごく楽しかった」と話してくださいました。

手芸もお得意でたくさん作品を作っておられました。

今は母親代わりに育てた孫息子さんが結婚され、ひ孫さんが次々に生まれ、大変だけど、幸せに包まれて過ごしておられるうちに要介護2から要介護1となり、現在は要支援2になられています。ひ孫さんたちと「ジグソーパズルで脳トレーニングをすることが楽しい」と話されています。私が吉岡さんと出会った16年前から何度も大病を患っておられますが、聡明さや気丈さは全く変わっておられません。これからもひ孫さんの成長を楽しみながら、備後の里に通っていただきたいと思えます。ご長寿おめでとうございます。

備後の里に通ってくださっている皆様もご長寿おめでとうございます。



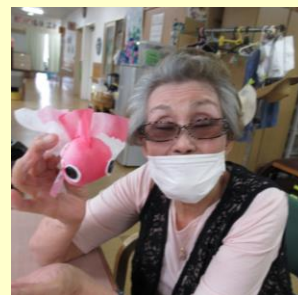
お知らせ



9月15～21日まで敬老をお祝いする「敬寿会」と銘うって、喫茶店を開店します。コーヒーもいつもと一味も二味も違うものをお淹れします☆
職員、全身全霊で皆様のご長寿をお祝いさせていただき所存でございます！！
お休みされぬよう、お越しく下さいませ♡

手作業風景

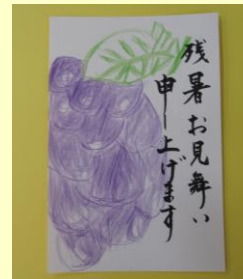
夏らしい“ものづくり”に 今月も励みました。
フロアを夏一色に彩っています



↑不織布を染めて、体に綿をつめこんで、目ん玉やひれをつけました🐟
優雅に泳ぐ金魚を再現しましたー!!



←花びらを一枚一枚縫って、ひまわりを作ります。



絵手紙もセンスが光ってます。



配色の相談をしながら、艶やかな花火を打ち上げてくれました。たまやー!!